

2017年度 安全衛生推進大会資料

<報告書>



株式会社 昭立造園



日慶エンジニアリング 株式会社

安全管理委員会

2017年度 安全衛生推進大会

2017年10月28日(土) 15:00~17:30

於：昭島市民交流センター 3階

◇大会次第◇

司会 今井 さくら

開会の辞	株式会社 昭立造園	フリースペース事業部次長	高橋 浩
挨拶	株式会社 昭立造園	代表取締役	阿部 晋也
安全方針	株式会社 昭立造園	安全委員長	佐藤 伸明
活動報告	・技術促進委員会 ・資源活用委員会 ・資材置場 ・車両委員会 ・直営		川口 吉武 小林 春雄 角田 洋 宮川 樹莉奈 敖 敏

◆ ◇ ◆ 休憩 (15分) ◆ ◇ ◆

ディスカッション	・重機の転倒		
各種表彰	・特別功労賞 ・安全表彰	協力業者 昭立造園	岸田 光義 殿 よこたがーでん 殿 舘野 和也 殿 大畠 弘士 殿 木村 友美 殿
衛生表彰	(健康賞) (健康努力賞)		4名 16名
安全の誓い	協力業者代表	よこたがーでん	松崎 猛春 殿
閉会の辞	日慶エンジニアリング株式会社	代表取締役	阿部 哲也



【開会の辞】

株式会社 昭立造園

フリースペース事業部次長 高橋 浩

出席いただいた方へのお礼の後、次のような挨拶がありました。

弊社の安全大会は年に一回行っております。やはり毎年事故が絶えないという状況の中で今日集まって頂きました。今日の帰りから事故は絶対に起こさないという気持ちを持ってもらいたいと思います。全員がこの気持ちを持てるように社員同士で「事故を起こさないように」と毎日言っていますが、これは一人一人が意識を持たない限り、事故は絶えません。災害ゼロ、死亡事故ゼロ、これを達成できれば昭立造園は日本でトップの安全な会社になることができます。事故を起こさなければ社会的に良い会社だと思われまます。事故を起こすと、社会的信用を失うことにもつながります。一人一人が協力・意識し、チームワークを大事に災害ゼロを実現して頂きたいと思います。以上をもちまして、開会の挨拶とさせていただきます。

【挨拶】

株式会社 昭立造園
代表取締役 阿部 晋也



出席いただいた方へのお礼の後、次のような挨拶がありました。

会社の近況とこれからの会社、社会に関して話をさせて頂こうと思います。
今年度より昭立造園と日慶エンジニアリングの安全大会は合同開催となりました。

会社の近況

職員数 68名

株式会社 昭立造園	社員 41名、準社員 8名
日慶エンジニアリング株式会社	社員 0名、準社員 19名

管理車両 トラック 33台
乗用車 17台
重機 12台

弊社の決算は7月31日としていますが、昨年比108%増となりました。皆様のご協力もありました。

各部の近況

緑化事業部…民間工事が好調でした。オリンピック・震災の間接的な影響もあって、公共事業・ゼネコン現場が増えました。売上を大分押し上げました。今年の4月から社会保険についてかなり厳しくなり、安全書類等がかなり厳しく、影響しています。

リーススペース事業部…昨年に引き続き、住宅および集合住宅は好調でした。アパートバブル終息もあり、ここ2~3年は厳しい状況となります。その中でも、社会情勢に左右されないようにホームページを活用し、個人客の取り込みを増やし、地域のみなさんへ認識してもらおう努力をしております。

メンテナンス事業部…件数に伸び悩みました。営業を強化しているなど、努力はしていましたが、一番苦戦しました。景気に左右されず、若手成長もあり、今期はプラスに転じると期待しています。

前期の反省

【人財確保について】

今期4月は、新卒入社がいませんでした。

→対策として新卒PTを会社全体で盛り上げ、人材確保に努めます。

【事故件数の増加】

とりわけ交通事故が3倍となりました。自動車保険料も1.7倍増となりました。

→対策として、全車両にドライブレコーダーを設置しました。

また、安全管理者部会の組織化（交通事故防止の呼びかけ、意識付け）を行いました。今期は5件以内に収めていくよう努めて参ります。

今後の課題

建設業界は、社会保険問題の対応に右往左往しています。次は「人材不足」その次は「人材教育」なかなか経営者の方々、苦勞されているかと思えます。

社会的に働き方改革の意識が進んでおり、「時間ではなく成果で評価する」社会となってきています。

これは、大企業と中小企業問わず求められている時代になっています。

同様に労働環境の考え方は、同じように求められます。

ホワイトカラーとブルーカラー・グリーンカラーも同等と位置付けられ、経営環境としては難しいです。

ただし、実態実務とのかい離があります。

最後に、会社目標に掲げている「職員の健康は会社の健康」と同様に「みなさんの健康は、昭立の健康」です。

今後とも、皆さんの健康と知恵を貸して頂き、共に歩んでいきたいと思えます。

今期も、労働災害、事故・怪我がないことを願い、ご挨拶に代えさせていただきます。本日はどうぞ宜しくお願い致します。

【安全方針】

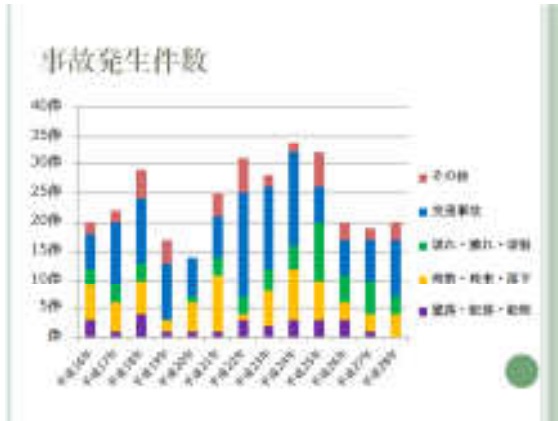
株式会社 昭立造園

安全委員長 佐藤 伸明



安全方針についてお話したいと思います。メインが交通事故、その他健康診断等についてです。

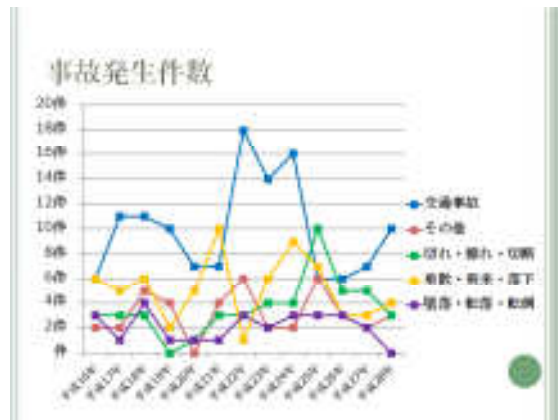
【図1】



【図1】 事故発生の件数ですが今年度を含めた13年分のデータになります。件数は3年程しばらく横ばいになっております。目標は重大・軽微なものを含めて20件以内としています。墜落転落はゼロでした。

毎年、飛散が多く草刈り事故も多いです。車両の積み込み荷が飛ばされるなどもあります。切れ、こすれ、墜落・転落・落下、これらは労災事故につながってしまいます。その他には熱中症も含まれています。

【図2】



【図2】 数で見て分かるように3年連続でやはり交通事故が最も多いです。今年度だけでも10件ありました。協力業者の方に質問ですがどんな事故が多いですか。弊社だけではなく、大手の業者も交通事故が多いです。大手会社も自社の交通事故が多く、頭を抱えているようです。なかなか対策がないのが現状のようです。墜落、転落、転倒は0件です。安全マニュアルにもはっていますが、二丁掛けの徹底、これが守られているので0だったのではと思っています。

飛散、飛来、落下についてですが、こちら1件は労災になってしまいました、トラックの荷台にモッコに積んだ石を足の上に落とした事故です。切れ・擦れ・切断関係、これは重大事故につながってしまいます。

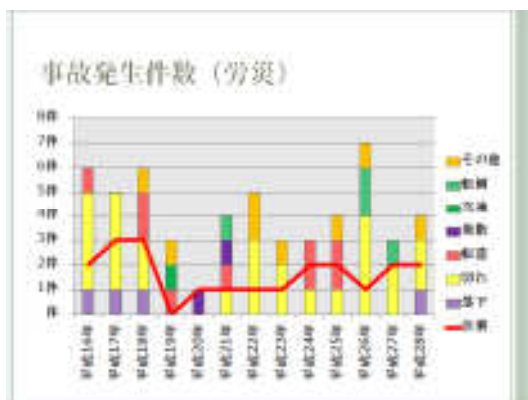
つねづね言っているのが、この切れ・擦れ・切断、墜落・転落・転倒をゼロにすればほぼ労災はゼロになります。

その他は熱中症やパッカー車のホッパーに機械（チェーンソー）を巻き込んでしまう事故がありました。やはり全体に若い人の事故が目立ちます。今年度の交通事故は10件です。そのため、自動車保険の金額も上がりました。高所作業車やパッカー車のキャビン部分をパーゴラにぶつけてしまうなどの事故があ

りました。

今までの話の中でパッカー車という言葉が何度もでてきました。全事故 20 件中 3 件がパッカー車による事故です。パッカー車の屋根を考慮していなかったもせうにぶつけてしまった事故、ホッパー部分にチェーンソーを巻き込んでしまった事故、走行中に看板を飛ばしてしまった事故がありました。パッカー車は便利な車両ですが、非常に死角が多い車両でもあります。ほとんどの業者がパッカー車を持っているかと思います。便利な車両を使用することは人件費削減にもつながります。運転手と荷台に荷物を載せた人が別の人の場合、トラックに乗ってしまうと荷物が見えません。死角になり、事故が多くなってしまいます。パッカー車は死角が多いということを入念に入れて置いて下さい。

【図 3】



【図 3】 こちらは労災関係のグラフになります。件数は毎年横ばいになっています。当然、ゼロにしたい事故であります。どうしても切れによる労災が起こってしまいます。労災では休業が 4 日以上ですが、4 日で治ることはなく、全治まで 1 か月以上はかかってしまいます。丸太を置き場に捨てる際に、鉄板に指をぶつけ骨折してしまいました。力を過信した結果起こってしまった事故です。昨年はプライベートでの事故も多かったです。そういった怪我也含めると近年だけが一番多い年でありました。

【図 4】



【図 4】 入社年数別の事故件数です。まんべんなく分布しているかと思いますが、5 年以下の割合が 75%程を占めています。やはり経験が浅い人ほど事故を起こしやすくなっています。一昨年と比べてみますとほぼ割合に変化は有りません。

【図 5】



【図 5】 年代別で見ますと 2 年連続でそうなのですが、29 歳以下、若い年代の人の事故が多いかと思えます。また、もう一つ特徴的なことは 60 代の人々の事故も一定数あります。

【図 6】



【図 6】 事故原因については技術不足、認識不足（知識不足）、判断力不足が大半を占めています。グラフにある通り、まんべんなく分布しています。やはり安全と技術は比例してくる要素のようです。

以上が、事故のデータでした。続いてはデータを基にした事故分析です。

まず交通事故から分析します。

【図 7】



【図 7】 6年分のデータです。半分以上が 20 代、もう半分以上が 60 代による事故です。

【図 8】



【図 8】 10 件中、20 代が 7 件、60 代が 3 件です。交通事故をおこしやすい年齢というのが 20 代、60 代あたりなのですが、それがこのまま出ています。高齢者の運転の仕方と、未熟な人の運転の結果かなと思います。特にこの年齢に当たる人は特に認識して下さい。偶然にしてはグラフがきっかり半分になっています。時間帯は朝夕方が一番多くなっています。今年は場所に関しては公道が 4 件に 1 件、次に駐車場内となっています。特にコンビニの駐車場内が多いです。

続いて、バック時、前進時の交通事故の分析です。

バック時は誘導員を付けましょうというのは徹底しているかとおもいますが、ぶつけてしまうのは左前左後がやはり多いです。前進時は左前が多かったのですが、次いで正面をぶつけた回数が多かったです。業者のみなさん、どのような対処法をしておりますでしょうか。

今年度は既に 4 件の交通事故が起こっています。

【図 9】



【図 9】続いて切れ・擦れの事故分析です。労災事故になったもののみを上げています。業者の皆様も刃物は使われるかと思いますが、この事故が起こる時間帯は 8～9 時が一番多いです。事前に現場確認が出来れば防げるかと思います。

衛生管理について

衛生委員の活動について、社員の健康状態の把握、怪我や病気などの予防、注意喚起、健康診断の実施などを行っています。

弊社の安全表彰は健康診断の結果に基づき、表彰しています。診断の結果より血圧やコレステロールなどといった項目の数値が高いと危険などを示しています。

衛 生 管 理

弊社では健康診断を受けたら終わりではなく、要精査・再検査などで引っかかった人などへ面談、書面にて通知などにより再検査、治療を行うように促します。

結果を甘く見ていると重大な事故へ発展する場合があります。周りの人間に迷惑がかかることもあります。この辺りをしっかりと認識して下さい。

今年度の安全方針です。安全目標は「交通事故の撲滅」です。重点 6 項目は事故を他人事と思わない事、近道行動の排除を新たに加えました。

以上をもちまして、平成 29 年度の安全方針を終わります。

【活動報告】

株式会社 昭立造園
技術促進委員会 川口 吉武



《技術促進委員会の活動について》

活動内容について報告させていただきます。

技術促進委員会として力を入れているのは、造園技能士講習会、エンジン機械講習会、剪定講習会、などです。また、技術資料を月一の会議にて技術についての簡単な資料を発表しています。

造園技能士の講習会についてですが、造園技能士2級は都道府県知事に認められた資格で、1級は国家資格になります。造園に関わる仕事をする人にとっては必要な資格ではないかと思えます。講習は暑い中、7月に試験に向けて行います。講師の厳しい指導の元、資格取得に努めています。

各種講習会については、剪定講習会、エンジン機械講習会、石積み講習会などを行っています。社内のベテランや外部の講師をお呼びして、講習会を開いています。昭立造園は人数が多いので全員が色々な作業をできるわけではありません。エンジン機械の正しい整備方法などここで学んで、仕事に生かしてもらおうという狙いがあります。他にも鉄の研ぎ方講習会や電動工具の講習会、接ぎ木の講習会、チェーンブロック講習会などがあります。

今年度の8月から災害防止会議の中で簡単な技術資料の発表を行っています。

講習の費用については会社が許可した技術講習や、合格後に費用を会社に負担してもらいます。

社内であるべく資格を取得し、仕事の幅を広げていくためにもこれを参考に他の会社でも実施していただけたらと思います。

技術促進委員会活動内容

- 造園技能士講習会 社員、協力業者対象
- 各種講習会 刈り・樹形調整会・剪定講習会・石積み講習会など
- 技術資料 月例会生高議にて技術資料の発表による講習。

次のページへ

造園技能士講習会

現在は、社員・協力業者一斉に講習が実施されています。

各種講習会

剪定講習会 エンジン機械講習会
石積み講習会

社内のベテラン、又は外部から講師をお呼びして講習会を開催します。

技術資料など

技術資料 種々の取扱いについて

今年8月から災害防止会議内で資料等を刊行して随分講習を実施。

【活動報告】

株式会社 昭立造園

資源活用委員会 小林 春雄



《資源活用委員会の活動について》

活動内容は会社の置場を管理し、使いやすいように整備していくことを目的としています。今日は置場の再確認として捨てる場所と注意点を説明していきたいと思います。

最初に弊社なし畑のガラスの捨て場です。ガラスの捨て場には、無筋ガラス、有筋ガラス、色付ガラス、タイル・レンガの4種類に分けています。タイル・レンガは別の袋に入れて、処分しています。

残土についてはなし畑にありますが、捨てる際に芝生が混ざっている場合があります。芝生は土を払って、枝ゴミ置き場へ処分して下さい。

なし畑置場に置く段ボールや紙は濡れた状態では捨て場に、置かないで下さい。乾かしてからこの置場へおき、他のものを混ぜないで下さい。形がなくなってしまった段ボールは廃プラ置場へ捨てて下さい。

鉄くずは下の置場になります。金属であればここへ置いて下さい。捨てる際は釘などが道路へ散らばらない様に注意して下さい。

木くず・枝ごみは下の置場です。捨ててよいものは、剪定した枝、幹や根、綺麗なヌキ板、サンギ、竹、支柱材です。根っこの土はふるってから捨てて下さい。

廃プラはなし畑です。プラスチック、ビニール、背セメント袋、シュロ縄、幹財、ゴム類です。ペットボトルなどは捨てないで下さい。

混合廃棄物はなし畑にありますが、これはどうしても分別できないのを置いて下さい。これは近年皆さんが分別して下さいますのであまり出ていません。引き続き分別できるものは極力分別して下さい。

廃油は下の置場ですが、液体塗料や接着剤等です。水性、油性どちらでも構いません。皆さんで整備をしていただいて、気持ち良く働けるようにこれからもご協力を宜しくお願いします。以上です。

【活動報告】

株式会社 昭立造園

資 材 置 場 角 田 洋



《資材置場について》

資材置場の材料や余った資材などの管理を行っています。

各置き場の資材等の保管について

基本ルールとして資材等を置き場に置く際は各現場の代理人に保管場所を確認して下さい。場所が空いているからと言ってその場には置かないで下さい。保管場所不明時は資材委員会の角田へ確認して下さい。また、置いた保管物には現場名・代理人名・期間を記入して下さい。

なし畑

植木、石材は各代理人の後、弊社会長へ連絡下さい。

廃棄物関係は…小林部長へご連絡下さい。

幹巻・シュロ縄等…不足分は補充願います。

16号置き場

ブロック・金物当2次製品…角田へ確認

残った資材等は各代理人または角田へ

多摩川置き

枝ゴミ 保管の目安ができたなら小林部長へ連絡

黒土 残量大型1代分をきったら小林部長へ連絡

草刈機等 閑散期は要確認し、連絡を取り合って保管して下さい

倉庫2階保管はまず、代理人または角田へ連絡

鉄くず・ガラは状況を見て、古川さんへ連絡して下さい。ガラのみ置場が違いますのでここは代理人へ置場を確認して下さい

新規使用材料・預り材料・残材等、保管場所不明などは角田へ連絡下さい。

保管は必ず代理人へ確認し、置場の管理のご協力をお願い致します。以上です。

【活動報告】

株式会社 昭立造園
車両委員会 宮川 樹莉奈



《車両委員会について》

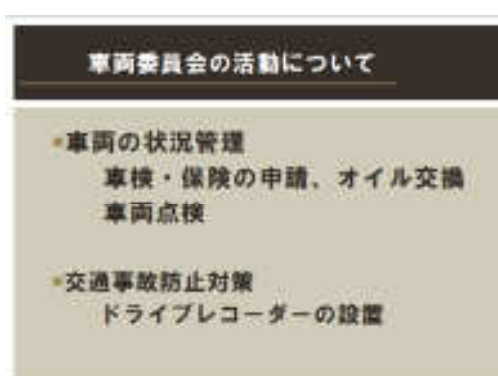
車両委員会の活動報告をさせていただきます。

車両委員では弊社所有の車両の管理、車両修理の依頼、整備状況の管理、交通事故防止の為の活動などを行っています。所有している車両は全部で48台あり、車検や自賠責保険などの保険の管理、月一で備品や車両のチェック、またなし畑の整備に伴いまして、自社でオイル交換やタイヤ交換などが行えるようになりました。また、工場への修理の依頼や修理状況の把握などを行っています。

交通事故防止の対策一環として9月に全車両にドライブレコーダーを設置しました。実際に事故が起きてしまった時の状況確認などに使用していく予定です。

最後に協力業者の方に確認とお願いなのですが、弊社の車両を使用される場合の鍵等の管理についてです。紛失防止の為に徹底して頂きたいのですが、弊社の鍵、ETCカード、給油カードを使用される場合は持ち出すものの場所に名札を掛けて頂きますようお願い致します。鍵はかかっていたフックへ、カード類はポケットへ名札を入れて下さい。宜しくお願い致します。

以上、車両委員会の活動報告とさせていただきます。



【活動報告】

株式会社 昭立造園

直 営 敖 敏



《直営活動報告について》

直営の活動報告をさせていただきます。

直営間で連絡事項がある場合にグループ LINE を活用しています。明日の現場で使用する材料を購入しなければならない時に遅い場合、早く買いに行ける人に購入してもらいます。また、複数の現場分の材料を購入するなど効率化も図っています。

次にエンジン機械の管理です。刈払機、トリマーなど、台数が多く、100 台程ありますので 1 台ずつ番号を付けて管理しています。機械そのものに小さなプレートを付けナンバリングし、管理をしています。またリストを作成し、一目でわかるようにしています。機械・道具類の手入れについて管理担当者を置かず、使用した人が清掃をすることになっています。故障しているのを発見した場合は業者に依頼します。

置場の整理・整頓について、昨年なし畑が大幅に改装されたため、限られたスペースに資材を置かなければならないので有効に活用できるように工夫しました。畑が綺麗になったため、綺麗なままを維持しようと整理整頓を各自が積極的にするようになりました。整理整頓が徹底されていると気持ち良く作業ができます。また、清掃の一環としてトイレの清掃表を設置し、自発的にきれいにする習慣が定着し、綺麗な状態を保っています。以上で、報告を終わります。



グループLINEの活用



機械毎にプレートがついています



資材・道具置場(通称:なし畑)の大幅な改造



苗圃(通称:なし畑)のトイレとトイレ清掃表

【グループディスカッション】

グループ内で課題に対して検討し、模造紙に**原因**と**対策**を書き出し、数班に発表して頂きました。

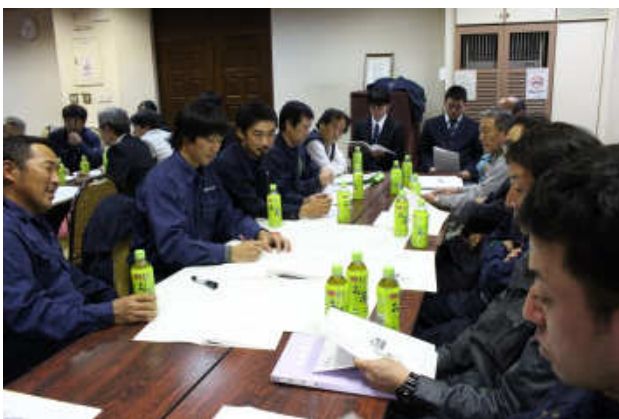
課題 現場で石積材料の玉石を整理楊重している際、クレーン仕様バックホウ(0.1 m³)で玉石が入ったシートモッコ(0.3t)を吊り上げ右に旋回したところ、荷重に耐えきれずバックホウが右側に横転した。(オペレーターにケガは無かった。)

この事故で留意すべきだった点は何でしょうか？

事故内容	・作業内容	資材(玉石)楊重
	・作業人数	2名(有資格者)
	・バックホウ	右側面破損及び故障



グループで討論しやすいように、机の配置を変えて、15分間じっくり考えていただきました。



■主にあがった原因と対策

<原因>

オペレーターが吊り荷の重さを把握していない
ユンボの吊り上げ荷重が能力以上の重さだった
アーム・ブームを伸ばしすぎた
吊り荷を上げた際の位置が高すぎた
アームを伸ばし、吊り荷を機械から離しすぎた
旋回スピードが速かった
誘導・指示のミス
オペレーターの技術不足
地盤が不安定

<対策>

能力以上の物を吊り上げない
ゆっくりと旋回する
地切りで安全確認、旋回をする
バックホウの機械性能を把握する
慌てて作業をしない
地盤の確認を行い、不安定な場合は鉄板等を敷く
必要以上に高く吊り上げない
作業内容にあった人員配置（安全指示者の配置）
経験を積んだ作業員が行う

総合的な結果として、原因で多かったのが旋回する際のスピードが速かったこと・吊り荷の位置・オペレーターの技術不足が上がりました。対策では、バックホウの性能を把握する・地切で旋回を行う・アームを伸ばしすぎないことが上がりました。

発表ごとに、会長、安全管理委員長による補足・総評がありました。



原因

- オペレーターが吊り荷の重さを把握していない
- エンジンの吊り上げ荷重が能力以上の重さだった
- ブームをのぼしすぎた
- 地切り高が高すぎた
- 旋回スピードが速すぎた

対策

- 能力以上の物を吊り上げない
- 地切りで安全確認をする
- あわてて作業をしない
- 必要以上に高く吊り上げない
- 旋回をしない作業方法にする

BHによる転倒事故

原因

- ブームを伸ばした状態での旋回
- 旋回スピードが早かった
- 吊荷の地切り位置が高い
- 重さの認識不足
- 地面の状態の確認不足

対策

- R×等の小半径のBHを使用する
- エンジンの回転数を落とすゆっくり旋回する
- 吊荷の地切り位置を30cm以下にする
- BHの機械性能を把握する
- 地盤が悪い場合は鉄板等を敷く等の対策を行う。

原因

- バックホウに対して積み荷が重すぎた
- 積み荷に対してキャタピラの位置が平行になっている
- 積み荷の重さの判断ミス (積み荷の重心を正確に理解する)
- 運転手手の操作不足 ④
- 旋回スピードが早すぎた

対策

- 積み荷を上げる際、バランスが取れているかを確認してから旋回する
- バックホウの性能を理解したうえで作業を行う
- 積み荷を動かす際はゆっくり動かす(アームをゆっくり動かす)
- 作業員の内 1人から積み荷の状態やバックホウのバランスを見て不安な場合は声かけをする

原因	対策
・ 重さの目測を誤った。	→ 事前に計算をする。
・ ブームを伸ばしたまま昇った事	→ 回転スピードを遅くする。
・ 回転スピードが速かった。	→ ブームは縮めて昇る。

原因	対策
・ 請書指示のミス	→ 作業内容の確認
・ アームを引いていなかった。	→ アームを事前にユックリ作業する。
・ キックの側面を旋回した。	→ 機材性能をハイクラス作業する。
・ 重量過多だった。	→ 同上
・ 吊り荷を上げ過ぎた。	→ 地状態を旋回する。
・ キックの接地面の圧入(硬)	→ 作業前の状況確認。
・ オペの技術不足	→ 作業内容に応じた人員配置
・ 吊り重量のハイクラス	→ 機材性能をハイクラス。

原因	対策
① 操作ミス	オペタが過信しなりの
② 回転スピード (遠じか)	吊り荷に合わせた旋回
③ 吊り荷の揚げ残	いども着地できる高さ
④ アームの伸ばしすぎ	吊り荷に近づけて揚げる。

バックホウ横転事故

〈原因〉

- ・吊荷を(向)く上げ過ぎて旋回した為
- ・吊荷を機械から離れさせた為



〈対策〉

- ・地盤で旋回し吊荷を上げすぎない
- ・安全協定の配置
- ・地盤の確認

原因

対策

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・アームの伸び過ぎ ・旋回スピードが速い ・地面が緩んでいた ・心理的状況 ・経験不足 | <ul style="list-style-type: none"> ・アームを伸ばし過ぎない ・スピードを緩め ・しき板をしく ・気配確認を行う ・離れた人間をつける |
|---|---|

《課題》

クレーンとバックホウにて玉石搬送を行う際、シートリフタ(吊り上げ)が旋回の際、バックホウが転倒した。

原因

- ・シートリフタの重量がバックホウの能力を超えていた
- ・急激な重量の増加
- ・地盤が悪い場所では？
- ・作業場の天候 状況

対策

- ① シートリフタを吊り上げる際の重心を機械の側面に置く(重量を吊り上げる際の重心を機械の側面に置く)
- ② 吊り上げる際の重量を確認し、許容範囲内であることを確認する
- ③ 作業場の天候、状況を確認し、必要に応じて作業を中止する
- ④ 作業場の天候、状況を確認し、必要に応じて作業を中止する

【表彰】

功労賞・安全表彰が行われました。



功労賞：今年度国土交通大臣より顕彰を受賞され、その榮譽を讃えて、職員1名を、株式会社 昭立造園 代表取締役 阿部 晋也より表彰いたしました。

功労賞

株式会社 昭立造園

岸田 光 義 殿

安全表彰：今年度安全衛生に特に務めた方にその功労を讃えて、協力業者1社、職員3名を、株式会社 昭立造園 代表取締役 阿部 晋也より表彰いたしました。

安全表彰

協力業者

よこたがーでん 殿

株式会社 昭立造園

舘野 和也 殿

大島 弘士 殿

木村 友美 殿

衛生表彰：時間の都合につき、表彰は割愛させていただきました。

衛生表彰 (健康賞)

高橋 浩 殿

川口 吉武 殿

中村 友哉 殿

内海 雄太 殿

(健康努力賞)

阿部 哲也 殿

阿部 祐子 殿

岩淵 敦美 殿

星野 克也 殿

大島 弘士 殿

熊坂 朋子 殿

加藤健太郎 殿

岡本 耕治 殿

鈴木 貴之 殿

木村 友美 殿

宮川樹莉奈 殿

石川龍太郎 殿

鈴木さと子 殿

藤村 悠樹 殿

村尾 仁 殿

小早川唯信 殿

【安全の誓い】

協力業者代表 よこたがーでん
松崎 猛春 様



ご出席いただいた協力業者様を代表して、先程、安全表彰を受賞されました、よこたがーでんの松崎 猛春 様より、力強く安全の誓いをいただきました。

安 全 の 誓 い

全ての現場から災害を排除し、安全で快適な職場環境を作ることは、私たちに課せられた重大な使命であります。

災害撲滅のため「近道行動の排除」を実行し懸命に努力してまいりましたが、この一年間の安全成績は満足できるものではありません。

厳しい環境の中で建設業を勝ち抜いていく為にも、本日の安全衛生推進大会を契機に事業主、現場代理人、作業員が一体となり初心に戻り、改めて「交通事故の撲滅」を目標に、全力で重点実施6項目をはじめとする安全衛生管理を推進し、労働災害防止に全力を尽くす事をここに誓います。

平成29年10月28日

平成29年度 株式会社 昭立造園 安全衛生推進大会

大会宣言 協力業者代表 よこたがーでん 松崎 猛春

【閉会の辞】

日慶エンジニアリング株式会社
代表取締役 阿部 哲也



本日出席いただいた皆様へのお礼の後、次のような挨拶がありました。

日慶エンジニアリングを平成27年6月に設立し2年が経過しました。今年度の安全大会は昭立造園と合同で開催する事が出来ました。

さて、昭立造園は44期を無事に終えることができました。また、ここ数年にない売上高を上げることができました。これはひとえに皆様のご協力と重ね重ね御礼を申し上げます。業界では生産性の向上や働き方改革などが課題となっていますが、まずは安全第一を徹底して品質向上、技術の向上ならびに技術の継承効率化を進めていきたいと弊社では考えております。皆様と一緒に安全大会を作り上げていく中で、昭立造園は皆と一緒に作り上げてきた会社だと感じます。その中でお願いがございます。安全書類を必ず各社、提出をお願い致します。その中でも健康診断、これは必ず受診して下さい。また社員数に変動があった場合には社員名簿を変更して頂き、弊社と情報共有をして頂きたいと思っております。

私達の安全大会は他社様とはどこが違うのかと申し上げますと、他の会社は講話が多かったりするのですが、弊社ではどういう社会の現状になっているのかを社長は皆様に伝えていきたいということで挨拶の中で触れています。働き方改革や社会保険、週休二日制など、ぜひ皆様にも現状がどうなっているのかアンテナを張って認識をして頂きたいと思えます。

本日をさせて頂いた中で、社員教育という話がありました。今後、人材確保をしていく中で、技術の継承をしていくことは会社が生き残っていく中で、一番大切なことだと社長の話にありました。その社員教育、今昔の違いがどこにあるのかと申しますと、昔は答えをすぐ提示していました。今の昭立造園の教え方は自ら考えて、答えを探し会社を作っていくという指導方法にしています。なので、失敗するのは当たり前で、失敗して何かを得るものはあります。そういった指導方法を弊社としては進めたいと思っております。本日も来ていますが、来春に新卒の社員が6名入ってきます。こういった若い人たちの力を借りながら、しっかりと前に進んでいきたいと思えます。

結びになりますが、本日の安全大会を契機に皆様の安全に対する意識と知識が向上して一人一人が怪我なく年が超えられるように祈念致しまして、閉会の挨拶とさせていただきます。本日は長時間にわたりありがとうございました。

出席者名簿

株式会社 昭立造園・日慶エンジニアリング 株式会社

役員	阿部晋 阿部哲 阿部伍
緑化	佐藤伸 岸田 川口 岩淵 星野
	田口 中村竜 高木 杉田 岡本竜 敖敏 舘野 熊坂 木村俊 加藤
	増田 鈴木貴 木村友 鈴木さ
	小山 佐藤 藤村 高橋正
	富岡 坂井 依田 高井 金子 森田 松倉
	向 富松 郡山
メンテ・リーススペース	小林 高橋浩 角田 吉田尚 今井 古川
	前田 原島 大島 中村友 高橋健 石川 内海 藤田
総務	阿部祐 遠藤 宮川 三井

協力業者

業者名	人数	業者名	人数	業者名	人数
アートフェンス工業(株)	1	心緑	1	(有)緑造園	1
(有)イーエス	1	菅野外構	1	よこたがーでん	1
井上造園	2	須崎庭園	1	リュウア-キワ-クス	1
(株)M&E	1	(有)鈴木商会	1	(有)緑化加平次	1
甲斐造園	1	ティーアール	1	緑京	2
(株)共進造園	1	デジスト造園	1		
クラフトグリーン	2	(株)道心造園	1		
桑原造園	1	永峯工業	2		
(有)幸伸タイル工業	1	(株)廣瀬興業	1		
酒井工業	1	(有)フラットターフ	1		
(株)山水園	1	(有)まごころ造園	2		
伸栄タイル	1	誠工業	3		
(株)伸緑苑	1	マサタイル	1		

(敬称略) 出席者合計 92名

本因はお礼しんじに書簡に謝罪がとびに書い味す。
 判尺所書のお名前前を記入下し。必ず同筆で記載し味す。

お名前	お住所
(漢) 野原 豊雄	○ 津田 村 松
"	○ 松倉 庄 基子
市 江 志 道	○ 新 庄 洋子
(漢) 野原 豊雄	○ 女 村 貞 昭
市 上 藤 田	○ 村 上 隆
(漢) 野原 豊雄	○ 赤 林 俊
市 野 原 庄 幸 次	○ 北 條 賢 昌 夫
(漢) 野原 豊雄	○ 野 原 道 明
"	○ 南 重 孝
"	○ 中 村 孝 介
"	○ 小 山 一 郎
"	○ 東 然 斎 勝
市 野 原 庄 幸 次	○ 新 庄 洋 子
市 野 原 庄 幸 次	○ 北 條 賢 昌 夫
"	○ 北 條 賢 昌 夫
市 野 原 庄 幸 次	○ 野 原 道 明
市 野 原 庄 幸 次	○ 南 重 孝
(漢) 野原 豊雄	○ 中 村 孝 介
"	○ 小 山 一 郎

本因はお礼しんじに書簡に謝罪がとびに書い味す。
 判尺所書のお名前前を記入下し。必ず同筆で記載し味す。

本因はお礼しんじに書簡に謝罪がとびに書い味す。
 判尺所書のお名前前を記入下し。必ず同筆で記載し味す。

お名前	お住所
(漢) 野原 豊雄	○ 津田 村 松
"	○ 松倉 庄 基子
市 江 志 道	○ 新 庄 洋子
(漢) 野原 豊雄	○ 女 村 貞 昭
市 上 藤 田	○ 村 上 隆
(漢) 野原 豊雄	○ 赤 林 俊
市 野 原 庄 幸 次	○ 北 條 賢 昌 夫
(漢) 野原 豊雄	○ 野 原 道 明
"	○ 南 重 孝
"	○ 中 村 孝 介
"	○ 小 山 一 郎
"	○ 東 然 斎 勝
市 野 原 庄 幸 次	○ 新 庄 洋 子
市 野 原 庄 幸 次	○ 北 條 賢 昌 夫
"	○ 北 條 賢 昌 夫
市 野 原 庄 幸 次	○ 野 原 道 明
市 野 原 庄 幸 次	○ 南 重 孝
(漢) 野原 豊雄	○ 中 村 孝 介
"	○ 小 山 一 郎

本因はお礼しんじに書簡に謝罪がとびに書い味す。
 判尺所書のお名前前を記入下し。必ず同筆で記載し味す。

株式会社昭立造園 安全マニュアル

株式会社 昭立造園

代表取締役 阿部晋也

安全委員長 佐藤伸明

安全注意項目	
1	あいさつは元気よくはっきりと（全員にする）
2	車両を移動する際は、車両を一周し、安全確認をしてから発進する
3	安全運転に心がけバックする時は必ず誘導する
4	ヘルメットはアゴ紐をしめ、適切な服装・保護具で作業する
5	安全指示事項を守り、より具体的な KY 活動を行う
6	高所作業時は 2 丁掛けの安全帯を必ず使用する（無装着状態をなくす）
7	機械類の始業点検を行い、未使用時はコンセントを抜く、エンジンを切る
8	喫煙場所の徹底（くわえタバコで作業しない）
9	無資格、無免許で作業しない
10	報告・連絡・相談を厳守する
11	不安全状況でないか常に確認して作業する
12	第三者に迷惑を掛けないよう心掛ける
13	毎日作業終了時には使用車両の片付け清掃を行う
14	不安全行動をしないよう皆で注意し合い、安全マニュアルを守る
15	整理・整頓・清掃・清潔・躰（5S）の徹底と、決めたことは必ず守ろう
16	CS 活動の励行
17	情報を共有し、同じ事故を繰り返さない

安全マニュアルを守れない者は処罰に課せられます（解雇、発注停止もありえます）

平成 28 年 8 月 31 日